

地域防災人材育成研修 平成 26 年度開催実績

1. 研修概要

地域の防災力の向上に向けて、自主防災組織の結成及び活動促進、市町村職員の防災意識向上につながる研修を実施し、地域防災をリードする人材育成を図る

2. 開催状況

県内で合計 6 回（浜田（委託）、江津 3 回、川本 1 回、知夫 1 回）開催

（1）江津会場

①跡市・有福温泉会場（H26. 8. 22（金））

研修概要：講演（講師 山口大学大学院瀧本准教授）
参加者：江津市跡市町・有福温泉町の住民 60 名

②松平会場（H26. 11. 11（火））

研修概要：講演（講師 山口大学大学院瀧本准教授）
参加者：江津市松平地区の住民 60 名

③跡市会場（H27. 1. 18（日））

研修概要：災害図上訓練、防災まち歩き（講師 NPO 法人ぼうぼうネット）
参加者：江津市跡市地区の住民 70 名



（2）川本会場（H26. 9. 25（木））

研修概要：講演、ミニ演習（講師 山口大学大学院瀧本准教授）
参加者：川本町職員 46 名



（3）知夫会場（H27. 2. 26（木））

研修概要：災害図上訓練（講師 NPO 法人ぼうぼうネット）
参加者：多沢地区の住民 12 名



（4）浜田会場（H27. 3. 15（日））

研修概要：業者委託（NPO 法人ぼうぼうネット）による発災対応型の避難訓練
参加者：浜田市弥栄町野坂地区の住民 52 名ほか、消防団、民生委員、市、県等の関係機関



【受講した感想】

～地域の方より～

- ・平成 25 年 8 月の災害後に気になっていた点で、自分だけが感じているものと思っていたことが、今回の D I G 訓練やまち歩きを通して、他の人も同様に感じていることがわかった。
- ・地区内でも端の方の地域なので、今まで地区全体の問題としては発言しにくかったが、このような訓練の場でみなさんに認識してもらえたことがうれしい。
- ・「他の人の意見を絶対に否定しない」というルールが、自由に発言しやすい空気を作り活発な意見交換ができた。子どもからお年寄りまで自由に発言でき、有意義だった。
- ・災害が発生してからの救助訓練も大事だが、災害が発生する前にできることをやっておくほうがより効果が高いということがよくわかった。
- ・市から配られた防災マップも、普段は自分の家の周りと避難所周りくらいしか見ていないが、D I G 訓練を通して他の場所の危険区域を自分でマーキングしてみると、地域全体の問題点が見えてきた。
- ・地域主催でこのような訓練ができるようリーダーの育成が急務。

～役場職員より～

- ・昭和 4 7 年災害や昭和 5 8 年災害のような大規模災害を近年では経験しておらず、また、過去の大規模災害を経験した職員が少なくなり、防災意識が薄れている中、今回は初期研修というかたちではあったが、多少なりとも防災に対する意識が強くなってきている。今後は、図上訓練或いは実践形式の訓練なども取り入れた研修も行い、自治体職員として、対住民に何ができるか？災害時にはどうしたら良いのか？など、意識を高めるために必要であると考えている。
- ・職員だけではなく、住民（自主防災組織や自治会）に対しても防災意識を高めてもらうため、講師を招き、講義や図上訓練を実施していきたい。
- ・少しではあったが、「災害というのは突然来る！」という意識を持ち、日頃何を備えれば良いかなど分かり、どう対応していかなければならないのかなどもわかった。次回また研修があるなら参加して、災害時の行動や防災について多くを学びたい。